



2羽のメジロが、学校の梅の木の蜜を忙しくついばんでいる様子を見掛けました。校内でも同様に、児童生徒や教師の活発な様子が見受けられ、新年度に向けての準備が着実に進められていると感じる今日この頃です。

進路指導では、高等部3年生を中心に、新生活へ向けて幾つかの行事を催させていただきました。それらの様子を本稿で紹介します。

【卒業生のお話を聞く会】 1月18日（水）

生徒たちが卒業後の生活への見通しをもつとともに、意識、意欲を高めることをねらいとして実施しました。



当日は、鹿屋電子工業の池ヶ谷 翼さんと社長、担当者に来校いただきました。「地域人材の可能性を伸ばしたい！」会社の理念の下、仕事のスキルを工夫して積み上げてきたこと、学校生活を通して成長できたこと、よりよく働くために、家での過ごし方等生活を見直してきたこと、自分の考えを周囲に伝えることといった、多岐に渡る後輩へのメッセージをいただきました。会社のユニフォームを着こなし、堂々と話す卒業生に、社会人として大きく成長したことを感じることでした。

その後は、保護者を対象に、ライズ株式会社 就労継続支援B型事業所 咲楽工房代表の草葉様より、福祉サービスについての講話をしていただきました。サービスの種類や利用の仕方など一般的な内容の丁寧な説明をいただきました。また、サービス利用に当たっては、実習や見学を通してサービス等についての理解を深めるとともに、お子様のことに関して関係者と情報共有を密にする大切さについてのお話もいただきました。



【移行支援会議】 2月末～3月

本会議は、高等部3年生や保護者が将来の生活についての希望や必要と思われる支援の内容を本人・保護者、進路先、就労・福祉関係機関、学校で話し合い、卒業後の支援のネットワークを作り、スムーズに卒業後の生活に移行できるようにすることをねらいに実施させていただいています。会議では、具体的な活動、生活レベルでの情報交換とともに、生徒を中心とした多くの支援者との関係づくりがなされたことと思います。卒業後は学校も支援機関の一つとなりますので、お気軽に連絡をいただければと思います。



【障害者就業・生活支援（なかぼつ）センター登録、障害者職業センタージョブコーチ職業評価】 3月2日（木）

本行事は、一般就労を予定する高等部3年生を対象としています。生徒・保護者の任意申請となりますが、学校としましても是非ともお勧めしているものです。なかぼつ登録につきましては、卒業後もセンターにて申請することができます。就職に当たり、各センターは、就労や生活に関して生徒へ必要な支援を行う



ことに加えて、事業所に対して直接に、生徒との関わりや環境への配慮に関する幅広い支援をしていただけるようになります。上記の移行支援会議にも一支援機関として参加することとなります。



本年度も保護者の皆さまには、行事への参加及び生徒送迎等の御協力をいただきました。末尾ながら、心より感謝申し上げます。

